

実験用カセットガスコンロの使い方

I. 使い方



- ① コンロにボンベをはめます。ボンベには「切りかき」という凹み（みぞ）が付いています。この部分と、カセットコンロ側の凸部分を合わせるようにして取り付けるのが正しいセット方法です。

* 注意 *

正しくセットされていないと ガスが漏れることがあります。もし取り付けがうまくいかずにガスが漏れたら、まずボンベを取り外してください。次に、漏れたガスの滞留をふせぐために、手やうちわで扇いであら、もう一度取り付けのようにしましょう。



- ② 火の大きさは、つまみを回して調節します。左に回すほど大きな火になります。使い終わったらつまみを「消火」のところまで回し、火を消しましょう。「ポンベをはずす」までつまみを回すとボンベが外れます。

II. 使用上の注意事項

- ・安定した平らなところに置いて使う。
- ・まわりに燃えやすいものがないか確認する。
- ・点火動作は慌てずに行う。（点火すると青い炎が出て、針先が赤くなることを確認）
- ・加熱実験後は、よく冷ましてから片付ける。
- ・ストーブの近くで使用しない。
- ・カセットボンベを暖房機のそばやガスコンロの近くなど高温になる場所に置かない。
- ・コンロの周囲に教材や壁、カーテンなどの引火物や可燃物、熱を遮るようなものから15cm以上離して使用する。

III. 管理上の注意事項

- ・カセットコンロは「経年劣化」するので、製造年月日を確認してください。古いカセットコンロ（10年が目安）を使用している場合、ガス漏れなどの事故が発生する危険性があります。製造年月日を確認して安全性、機能性のアップしている新しいカセットコンロへの買い換えを検討してください。
- ・カセットボンベのガスは、振って音がしなくなるまで完全に使い切ってから捨ててください。ボンベをカセットコンロにセットして、火が消えるまで燃焼させれば、確実に使い切ることができます。振って音がしなくなったら分別して捨てましょう。
- ・使い終わったカセットボンベは「可燃ゴミ」と一緒にしないでください。
- ・ボンベには液化されたガスが入っています。ボンベが高温になるとガスが気化して内部の圧力が高くなり、ボンベが変形したり、場合によっては爆発したりする危険性があります。たとえ空になっても、ボンベを火気や熱源（ヒーター、コンロ、ストーブ等）のそばに置かないでください。

